

松茂小学校
「学力向上実行プラン」

研究テーマ

学び合う楽しさやわかる喜びを感じ、課題解決に向けて
主体的に取り組む子どもの育成

～ 「よく聞くこと」、「表現すること」の指導を通して ～

(1)基礎的・基本的な知識・技能の習得

児童生徒の状況		具体的目標(目指す子供の姿)	成果指標	中間期の見直し	取組状況	達成状況
よさ	・簡単な計算や漢字の読み書きはできる。 ・単元ごとのテストでは、知識・技能を問う問題はできている。	・単元ごとのまとめや授業のふり返りの際に、学習した内容の練習問題を自分の力で解くことができる。 ・学習した言葉を文章の中で正しく使うことができる。	・練習問題や単元の基礎的な内容で、80%できる児童が8割を超える。 ・8割の児童が、言語の知識を問う問題や短作文などで、言葉を正しく使うことができる。			
	課題	・語彙が少ない。 ・単元によっては、基礎的な学習課題を達成できていない児童がいる。	・教材研究を行い、わかる授業に努める。 ・読書の推進、新聞の活用を努める。 ・ドリル、小テスト、ノートチェックをこまめに行う。			
		具体的方策(教員の取組)	取組指標	評価 次年度における改善事項		

(2)知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況		具体的目標(目指す子供の姿)	成果指標	中間期の見直し	取組状況	達成状況
よさ	・自分の意見や考えをノートやワークシートなどに書き発表することができる。 ・ペアで考えを伝え合うことができる。	・理由を明らかにして自分の考えを表現することができる。 ・既習内容を使って問題を解決しようとする。	・1日に1回、8割の児童が理由を明らかにして自分の考えを表現することができる。			
	課題	・理由を明らかにした表現ができる児童が少ない。 ・グループの話合いが深まらない。 ・意見を持っていない児童がいる。	・教員アンケートの「ペア学習やグループ学習で、話型やホワイトボード、PMIシートを活用する」の項目で達成が8割を超える。 ・児童アンケートの「自分の考えを理由とともに発表したり、ノートに書いたりする」の項目で達成が8割を超える。			
		具体的方策(教員の取組)	取組指標	評価 次年度における改善事項		

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況		具体的目標(目指す子供の姿)	成果指標	中間期の見直し	取組状況	達成状況
よさ	・意欲的に学習に取り組むことができる。 ・与えられた課題や宿題はほとんどの児童ができています。 ・相手の方を向いて最後まで話を聞くことができる児童がいる。	・相手の話を最後まで静かに聞くことができる。 ・次の時間の学習準備を整える。	・8割の児童が集中して最後まで話を聞くことができる。 ・8割の児童が、自主的に次の時間の準備をすることができる。			
	課題	・声かけがなければ、話を聞く態度にならない。 ・自ら進んで課題を見つけ、計画を立てて学習に取り組む児童が少ない。	・教員アンケートの「聞く態度の指導に進んで取り組んだ」の項目を全員が達成する。 ・児童アンケートの「相手の話を最後まで聞いた」「授業の終わりに次の時間の学習の用意を整えた」の項目で達成が8割を超える。			
		具体的方策(教員の取組)	取組指標	評価 次年度における改善事項		

令和元年度 学力向上ロードマップ



